

環境経営レポート

2023年度版

レポート対象期間:2023年10月～2024年9月

発行日:2024年11月25日

浦和新日環商事株式会社

《第一段階》計画の策定(Plan)

(1) 組織の概要

①事業者名 浦和新品環商事株式会社 代表取締役 油布達也

②所在地 事務所: 埼玉県さいたま市緑区三室2459 Tel: 048-874-3071
 駐車場: 埼玉県さいたま市見沼区染谷2-190(487m²) Tel: なし

③設立日・資本金 設立: 1985年11月5日 資本金: 10,000,000円

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
処理量	t	478.39	392.13	405.95	409.39
売上高	百万円	435	424	459	485
従業員	人	9	9	9	8
床面積	m ²	29.54	29.54	29.54	29.54

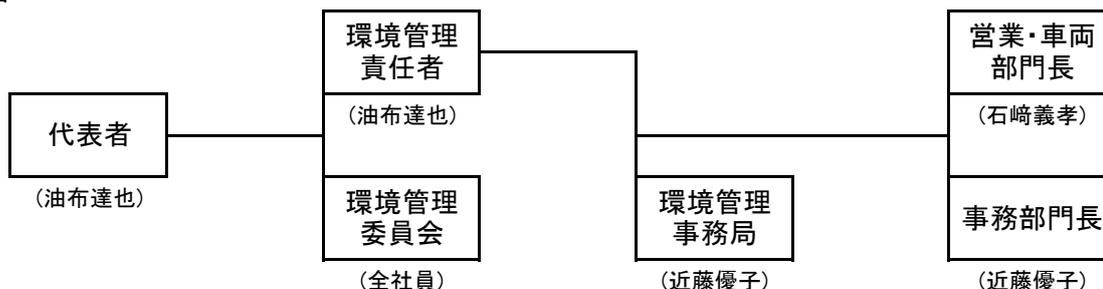
⑤事業の概要 産業廃棄物収集運搬業:
 汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類 ほか
 特別管理産業廃棄物収集運搬業:
 廃油・廃酸・廃アルカリ・廃石綿等・特定有害産業廃棄物 ほか
 <計画値>

品目	単位	産業廃棄物	特管産廃物	合計
廃油	kg/月	8,000	2,050	10,050
廃酸	kg/月	5,000	10,000	15,000
廃アルカリ	kg/月	3,000	1,300	4,300
廃プラスチック	kg/月	300	----	300
汚泥	kg/月	12,000	800	12,800
合計	kg/月	28,300	14,150	42,450

※その他の許可品目は過去実績をもとに成果を上げるべく計画しています。

※詳細は「産廃情報ネット」ホームページをご参照ください。

⑥組織図



※役割、権限等

代表者	環境方針の制定・誓約・周知、環境管理責任者任命、代表者見直し実施
環境管理委員会	環境経営システムの制定・改定、運用状況の確認と問題点の洗い出し
環境管理責任者	計画目標の構築・立案、活動実施状況の代表者への報告
環境管理事務局	活動全般の推進
各部門長	自部門の環境目標・計画の策定・実施、活動に伴う法的要求事項の遵守

(2) 環境経営計画の日程、対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

- ① 日程 : 中期計画(2022年10月～2025年9月)の第二年度
- ② 対象範囲 : 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業、廃棄物の適正処理・リサイクルに関するコンサルティング
- ③ 対象期間 : 2023年10月1日～2024年9月30日
- ④ 発行日 : 2024年11月25日

(3) 環境経営方針

環境理念

環境問題が地球規模で喫緊の解決すべきテーマとなって久しい今日、私どもは環境事業、とりわけ産業廃棄物処理にかかわる企業として、廃棄物の適正処理を継続的に維持するため処理事業やコンサルティングを通じ社会に貢献します。産業廃棄物の処理処分について従来からの適正処理に加え、資源の有効活用やリサイクルが強く求められることを十分理解したうえで経営における課題とチャンスとを踏まえ、現業(収集運搬)はもちろんのこと、コンサルティングにより最新の情報提供等に積極的に取り組みます。

環境方針

下記の項目を重点分野とします。

1. 現業(収集運搬)およびコンサルティングを通じ、適正処理およびリサイクルの推進に貢献することを目指す。
2. 常に変化する顧客および処分場からの要望事項等を適切に把握し、関係者への情報提供や提案を行うことにより効果的な具体策を提供する。
3. 消費する資源を最小限に抑え、自社廃棄物の低減化、再資源化に努めると同時に、グリーン購入を推進する。
4. 環境経営の継続的改善を実施する。
5. 環境関連法規を遵守する。

制定 2007年02月01日

改定 2023年12月26日

浦和春日環商事株式会社

代表取締役 油布 達也

(4) 環境経営目標

次ページ参照

(5) 環境経営計画

《第二段階》計画の実施(Do)

(6)環境経営計画に基づき実施した取組内容(実施体制を含む)

No	環境経営計画				環境経営目標					
	項目 【責任者】	基準年度 (基準値)	単位	達成手段	2022年 度目標	2022年 度結果	2023年 度目標	2023年 度結果	2024年 度目標	2024年 度結果
1	二酸化炭素排出総量の維持 (電気ガソリン軽油LPG) 【環境管理責任者】	前中期計画実績 平均 (46820)	kg-CO2	電気使用量・ガソリン軽油使用量・LPG使用量の達成手段の励行	基準値 維持 46820	45766 (102%)	(1)~(5) 合計 46077	48017 (95%)	(1)~(5) 合計 46077	
1-(1)	電気使用量 【事務部門長】	前中期計画実績 平均 (5200)	kWh	①冷暖房設定温度の管理 ②春秋昼間の冷暖房原則停止 ③休憩時間は原則消灯	基準値 維持 5200	5460 (95%)	1%削減 5148	5300 (97%)	1%削減 5148	
1-(2)	営業車ガソリン使用量 【営業・車両部門長】	前中期計画実績 平均 (7400)	L	①不必要な外出の削減 ②効率的な営業ルートの設定 ③燃費の向上 (不要なアイドリング等の削減)	基準値 維持 7400	8354 (88%)	1%削減 7326	7778 (94%)	1%削減 7326	
1-(3)	運搬車ガソリン使用量 【営業・車両部門長】	前中期計画実績 平均 (2900)	L	①効率的な営業ルートの設定 (1回線で複数収集等) ②燃費の向上 (不要なアイドリング等の削減)	基準値 維持 2900	2271 (127%)	2%削減 2842	2590 (109%)	2%削減 2842	
1-(4)	運搬車軽油使用量 【営業・車両部門長】	前中期計画実績 平均 (7900)	L	①効率的な営業ルートの設定 (1回線で複数収集等) ②燃費の向上 (不要なアイドリング等の削減)	基準値 維持 7900	7056 (112%)	2%削減 7742	8300 (93%)	2%削減 7742	
1-(5)	LPG使用量 【事務部門長】	前中期計画実績 平均 (31)	m ³	①ガストープ(2面式)の点火管理 ②エアコン暖房の併用	基準値 31	34 (89%)	1%削減 30	24 (121%)	1%削減 30	
2	一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の維持 【事務部門長】	前中期計画実績 平均 (94)	kg	①燃えるゴミと紙ごみの分別徹底 ②水分含有物の水切り徹底	基準値 維持 94	89 (104%)	2%削減 92	86 (105%)	2%削減 92	
2-(1)	紙ごみ排出量の維持 【事務部門長】	前中期計画実績 (80)	kg	①コピー用紙は必要文書以外の裏紙利用の徹底 ②小冊子、封筒窓枠等のビニール部分を完全除去 ③コピー用紙・小冊子・新聞等については種類ごとに区分のうえ、市運営のリサイクルルートを利用	基準値 維持 80	81 (98%)	1%削減 79	60 (130%)	1%削減 79	
2-(2)	紙ごみリサイクル率の維持 【事務部門長】	100	%		100	100	100	100	100	
3	水道使用量の維持 【事務部門長】	前中期計画実績 平均 (32)	m ³	定期的な声掛け	基準値 維持 32	35 (91%)	1%削減 31	31 (100%)	1%削減 31	
4	既存及び新規の収集運搬に係る処理ルート の提案件数 【環境管理責任者】	月平均2件以上 (24)	件	①新規:従来からの処分場だけでなく広く見積もりを打診する。 ②既存:常に他の処理ルートを提案できる体制にしておく。	24	11 (45%)	24	20 (83%)	24	

注) 1. 購入電力の排出係数は、2021年度東京電力の「0.452kg-CO2/kWh」を使用しています。

2. 事業年度は、10月～9月です。

3. 実施スケジュールは2ページ: (2)③「対象期間」を、責任者は1ページ: (1)⑥「組織図」をそれぞれ参照ください。

4. 自社から排出する産業廃棄物および化学物質はないため目標化していません。

《第三段階》取組状況の確認及び評価(Check)

(7)環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

①取組結果とその評価

No	環境経営目標	責任者	単位	実績・達成率	評価
1	二酸化炭素排出総量 以下(1)~(5)の合計【46077】	環境管理責任者	kg-CO2	達成率 95% 48017	△
	実績分析	電気・ガソリン・軽油・LPGの各項目の目標値に対する合計の達成率が、そのまま当日標の達成率となった。			
	翌期に向けて	各使用量の達成手段を意識した行動をすることに心がける。			
(1)	電気使用量 前中期計画実績平均の1%削減【5148】	事務部門長	kWh	達成率 97% 5300	△
	実績分析	暖冬の影響で冬季の暖房はエアコンが中心となり、第一四半期より継続して目標値を超過した。第二・三四半期は削減努力の効果があつたが、夏場は記録的な猛暑のため達成手段が遵守できなかった。			
	翌期に向けて	ますます厳しく、長くなる猛暑については、まずは体調管理を第一とする。そのうえで達成手段をできるだけ活用して不必要な使用の削減を図る。また、暖冬に備えエアコンとガスストーブのすみ分け方法を検討しておく。			
(2)	営業車ガソリン使用量 前中期計画実績平均の1%削減【7326】	営業・車両部門長	L	達成率 94% 7778	△
	実績分析	上半期は営業機会の確保のため使用量が6か月継続して目標値を超過した。このため下半期では使用量を低減した営業職員に対しインセンティブ案を提示したところ減少傾向が見られ、90%台の達成率に回復できた。			
	翌期に向けて	インセンティブ案は一定の効果があつたものと思われるが導入には営業職員以外の職員との差も生じるため現在検討中である。まずは達成手段である効率的な訪問ルートの検討、エコドライブの励行を地道に続ける。			
(3)	運搬車ガソリン使用量 前中期計画実績平均の2%削減【2842】	営業・車両部門長	L	達成率 109% 2590	○
	実績分析	運搬車軽油も同じだが、年度を通じて運搬機会が増大し、昨年度実績比較軽油+1244L、ガソリン+319Lであった。ガソリン車の出勤回数は昨年度比大幅増加ではないことから、目標値はクリアできた。			
	翌期に向けて	運搬車軽油も同じだが、今後も運搬機会の増加が想定されるため目標値ギリギリの使用量が継続する見込みである。ここ数年のガソリン車は目標達成しているため可能な限りでガソリン車を使用する。			
(4)	運搬車軽油使用量 前中期計画実績平均の2%削減【7742】	営業・車両部門長	L	達成率 93% 8300	△
	実績分析	10月~5月は目標値をクリアしていたが、6月以降の売上の増加傾向に伴い使用量が大きく増加し、目標値を下回るようになった。7月上旬から9月下旬までの異常な猛暑によるエアコンのフル活用なども悪影響であった。			
	翌期に向けて	普段の運転所作においてエコドライブを励行することはもちろんのこと、運搬機会が増加していることから事前に効率的な運搬ルートを検討のうえ配車日程を組むことに意識する。			
(5)	LPG使用量 前中期計画実績平均の1%削減【30】	事務部門長	m ³	達成率 121% 24	○
	実績分析	例年11月下旬より使用しているが、今年は暖冬の影響で本格使用は年明けの1月からとなった。その後も暖冬傾向が継続したため大幅な目標達成となり、使用量についても昨年度実績▲9.8m ³ となった。			
	翌期に向けて	暖冬傾向であってもエアコンとバランスよく使用するため、その日その日で何を使うかでなく、1か月先を見越した使用方法を考えておく。			
2-(1)	一般廃棄物(可燃ごみ)排出量 前中期計画実績平均の2%削減【92】	事務部門長	kg	達成率 105% 86	○
	実績分析	目標値、昨年度実績いずれも下回り、数年単位で見ても順調に排出量の削減が進んでいる。いずれ下限に到達すると見込まれるものの、継続的に、地道に達成手段を実施する。			
	翌期に向けて	毎日の積み重ねが重要であり、外部からの弁当がらなどの持込禁止や紙ごみとの分別をきちんと行い、茶殻などの水分含有物はきちんと絞ってから廃棄することを徹底する。			
2-(2)	紙ごみ排出量 前中期計画実績の1%削減【79】	事務部門長	kg	達成率 130% 60	○
	実績分析	市指定の処分工場への搬入予約・キャンセル入力に不手際があり、荷造り完了分のみの搬入とせざるを得なかった。未造り搬出予定分は段ボール3~4箱ほどあり、その分を含めると100kg超となるはずであった。			
	翌期に向けて	キャンセル入力方法はすでに確認済みであり、翌年度の搬入予約は慎重に行うこととする。未排出分があるため翌年度は翌年度排出量が増加する。			

No	環境経営目標		責任者	単位	実績・達成率	評価
2-3	紙ごみリサイクル率 100%を維持		事務部門長	%	達成率 100% 100	○
	実績分析	飲食物の付着などの汚れがひどいもの以外はきちんと分別し市のリサイクルルートに乗せることができている。				
	翌期に向けて	リサイクルセンターへの持ち込み分を当日に確実に受け取ってもらうため、市指定の排出方法を毎年度開始時に確認し分別を徹底する。				
3	水道使用量 前中期計画実績平均1%削減【31】		事務部門長	m ³	達成率 100% 31	○
	実績分析	年度初月に目標値の倍の使用量となり、ヒアリングや調査の結果原因は特定できなかった。その後は機会あるごとに手洗い時の水の流しっぱなし、トイレ流し水の必要以上の使用は控えるよう注意喚起した。				
	翌期に向けて	何とか目標は達成したものの年度初月の大量使用を挽回するには時間がかかった。これを糧とし、適時適切に継続的な声掛けによる注意喚起と使用量実績の進捗報告により常に意識して使用する状況にする。				
4	既存及び新規の収集運搬に係る処理ルートの提案件数【24】		環境管理責任者	件	達成率 83% 20	△
	実績分析	現在はすでにコロナ前の状態に戻り、新規件数は昨年度と比較すると+9件となり訪問営業の成果も出ている。一方、既存ルートの変更については昨年度に引き続き0件であり、20件はすべて新規件数である。				
	翌期に向けて	既存の処理ルートの変更の件数増加が課題である。現在営業中のすべての事業所に産業廃棄物処理業者が存在するが、あきらめることなく機会を見つけて提案型の営業に取り組んでいく。				
その他	コンサルティングの概要		環境管理責任者	—	—	—
	概要	環境経営方針では「コンサルティングを通じ適正処理及びリサイクルの推進に貢献することを目指す」としており、当期に実施した具体的内容は次のとおり。				
	実績分析	既存の処理ルートの変更:0件 新規の処理ルートの開拓:20件 処理場見学の回数(定期実施含む)11件				
	翌期に向けて	委員会席上において、新規、既存問わずニーズの掘り起こしをするような営業活動を意識して行う。				

注)1. 購入電力の排出係数は、2021年度東京電力の「0.452kg-CO₂/kWh」を使用している。

2. 環境目標の達成度:○…目標達成 △…やや未達(100%未満~80%) ×…未達(80%未満)

3. 実施スケジュールは2ページ:(2)③「対象期間」を、責任者は1ページ:(1)⑥「組織図」をそれぞれ参照ください。

②次年度の環境経営目標及び環境経営計画

NO	環境経営目標			環境経営目標		
	目標項目	基準値	単位	2022年度 (2022.10~2023.09)	2023年度 (2023.10~2024.09)	2024年度 (2024.10~2025.09)
1	二酸化炭素排出総量の維持 (電気・ガソリン・軽油・LPG)	前中期計画実績平均 46820	kg-CO2	基準値維持 46820	(1)(2)(3)(4)(5)合計 46077	(1)(2)(3)(4)(5)合計 46077
1-(1)	電気使用量	前中期計画実績平均 5200	kWh	基準値維持 5200	1%削減 5148	1%削減 5148
1-(2)	営業車ガソリン使用量	前中期計画実績平均 7400	L	基準値維持 7400	1%削減 7326	1%削減 7326
1-(3)	運搬車ガソリン使用量	前中期計画実績平均 2900	L	基準値維持 2900	2%削減 2842	2%削減 2842
1-(4)	運搬車軽油使用量	前中期計画実績平均 7900	L	基準値維持 7900	2%削減 7742	2%削減 7742
1-(5)	LPG使用量	前中期計画実績平均 31	m ³	基準値維持 31	1%削減 30	1%削減 30
2-(1)	一般廃棄物(可燃ごみ) 排出量の維持	前中期計画実績平均 94	kg	基準値維持 94	2%削減 92	2%削減 92
2-(2)	紙ごみ排出量の維持	80	kg	基準値維持 80	1%削減 79	1%削減 79
2-(3)	紙ごみリサイクル率の維持 (防水加工品や汚損品等除く)	100%	%	基準値維持 100	100	100
3	水道使用量の維持	前中期計画実績平均 32	m ³	基準値維持 32	1%削減 31	1%削減 31
4	新規及び既存の収集運搬に 係る処理ルートの特案件数	月平均2件以上 24	件	24	24	24

※電気使用量のCO2排出係数は、2021年度東京電力調整後0.452kg-CO2を使用している。

(8) 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

	主な適用法規	遵守事項	確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無
1	廃棄物処理法	許可の取得及び更新	○ 必要な範囲及び更新は必要の都度実施
		契約書の作成	○ 収集運搬実施前の作成の励行
		マニフェスト伝票	○ 伝票の引き受け、発行、返却、保管の励行
		契約書及びマニフェストの保管	○ 現時点で5年超保管(期間の長短にかかわらず廃棄禁止)
		収集運搬基準の遵守	○ 飛散・流出させない、車両表示は納車時に済、許可証等の書面備付けは必要の都度持ち込み、混載禁止などは励行
2	自動車・家電リサイクル法	リサイクル券購入や料金支払いの履行	○ 自動車の購入と家電は廃棄なし
3	フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検	○ 3月に1回の簡易点検(音・油・腐食・振動)及び記録の保存済
4	グリーン購入法	グリーン製品の積極的購入	○ グリーン商品の選択可能な商品は、グリーン商品を選択し購入
5	悪臭防止法	事務所・車庫とも規制地域内	○ 特定悪臭物質の臭気を人間の嗅覚でチェック済
6	Nox・Pm法	規制適合車両のみ使用可能	○ 全車両適合(このうち、非適合で対策済みの適合車両は1台)
7	道路運送車両法	日常・定期検査の実施	○ 日常は運転日報にて、定期は1年車検で対応
8	さいたま市条例	アイドリングストップ	○ エコドライブ教育時に長時間のアイドリング回避を指導、その他の機会でも随時周知、運転日報の「しない宣言」欄にチェック有
		排出ごみの分別徹底	○ ガイドブックに沿った分別徹底の実施、特に紙ごみは市のリサイクルルートのみを使用

※ 環境関連法規への違反、関係当局より違反の指摘や行政指導等、訴訟などいずれもありませんでした。

《第四段階》全体の評価と見直し(Action)

(9) 代表者による全体の評価と見直し

(2024/11/10実施)

<p>環境経営方針</p>	<p>変更の必要性 なし</p> <p>指示事項</p>
<p>環境経営目標 環境経営計画</p>	<p>変更の必要性 なし</p> <p>指示事項</p> <p>①紙ごみの市リサイクル施設への搬入手続きに不手際があったため、翌年度はきちんと全量搬出できるように事前に計画を立て搬入手続きを行うこと。</p> <p>②運搬車両の燃料使用量は増加傾向が見込まれるため、エコドライブの励行はもちろんのこと、荷姿及び使用量実績の進捗にあわせて最適な車両を選択する。</p> <p>③営業車ガソリン使用量の低減を目的としたインセンティブ案の運用化を検討する。ヒアリングを含めた上で詳細な計画立案し、実際に運用を行うかどうか検討する。</p>
<p>実施体制</p>	<p>変更の必要性 なし</p> <p>指示事項</p>

《SDGs》当社のea21取組とSDGsとの関連性

二酸化炭素排出総量の削減

電気使用量の削減	軽油使用量の削減	 <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	 <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>
ガソリン使用量の削減	LPG使用量の削減		

一般廃棄物排出量の維持・削減

紙ごみ以外の排出量	紙ごみの排出量	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	 <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>
紙ごみリサイクル率			

水道使用量の維持・削減

上水道使用量		 <p>6 安全な水とトイレ を世界中に</p>	

廃棄物の適正処理確保

提案活動	法令順守	 <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>
教育訓練の実施			

その他の取り組み

法令順守	各種情報の公表	 <p>4 質の高い教育を みんなに</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>
4S活動の推進	教育訓練の実施		